

開館35周年記念特別展
戸栗美術館 名品展Ⅱ
- 中国陶磁 -

2022年11月21日(月) - 12月29日(木)
Toguri Museum, Best of Collection: Chinese Porcelain

「中国の陶磁は世界の宝物。なかでも官窯のきれいなものが多い」。当館創設者戸栗亨(1926~2007)は伊万里焼や鍋島焼などの日本の磁器を数多く蒐集しましたが、冒頭の言葉にあらわれているように中国陶磁にも高い関心を持ち、優品の取得に尽力しました。

景德鎮官窯の作例の中でも、とりわけ愛好していたのが青花です。青花とは、コバルト顔料による釉下彩の技法。元時代後期にあたる14世紀に景德鎮窯で確立され、明時代前期に開始される官窯でも受け継がれました。美しい白地に映える清廉な青色、端正な筆致、時代の趣を反映した雄渾さや優美さを備えた文様構成など、完成された姿に感じ入るところがあったのでしょうか。

今展では、館蔵の明時代前期の景德鎮官窯の青花をはじめとした中国陶磁、約80点を15年振りに一挙公開いたします。戸栗の審美眼によって精選されたコレクションをご高覧ください。



釉裏紅 菊唐草文瓶
景德鎮窯
明時代洪武年間(1368~98)
高32.2cm



瓦胎漆衣 熊足博山炉
前漢時代(紀元前3~紀元後1世紀)
通高15.4cm



豆彩 葡萄粟風文 瓠形瓶
景德鎮窯
清時代雍正年間(1723~35)
高12.4cm



三彩馬
唐時代(8世紀)
長76.3cm



青花 鳳凰文 壺
景德鎮窯
明時代隆慶年間(1567~72)
高44.0cm



青磁瓶
龍泉窯
元時代(14世紀)
高27.6cm

会期中イベント

■ ラウンジ・トーク

『戸栗美術館名品展Ⅱ—中国陶磁—』の見どころ

1階ラウンジにて、スライドを使って展示の見どころをご紹介します。入館券をお求めの上、ご自由にご参加ください(予約不要)。

11月26日(土)・12月14日(水) 各日10:15~(約45分)

各日先着20名様/参加費無料

■ ラウンジ&ギャラリー・トーク

「戸栗コレクションの中国陶磁」

前半は1階ラウンジにて戸栗美術館の中国陶磁コレクションを概説し、後半は2階展示室にて展示解説を行います。

12月5日(月)14:00~(約120分)

※当日は13:30に開館いたします。

※終了後は17:00までご観覧いただけます。

要事前予約/先着20名様

参加費1,500円(税込) 入館券を別途お求めください

予約サイトにてお申し込みください

<https://airrsv.net/toguri-reserve/calendar/>



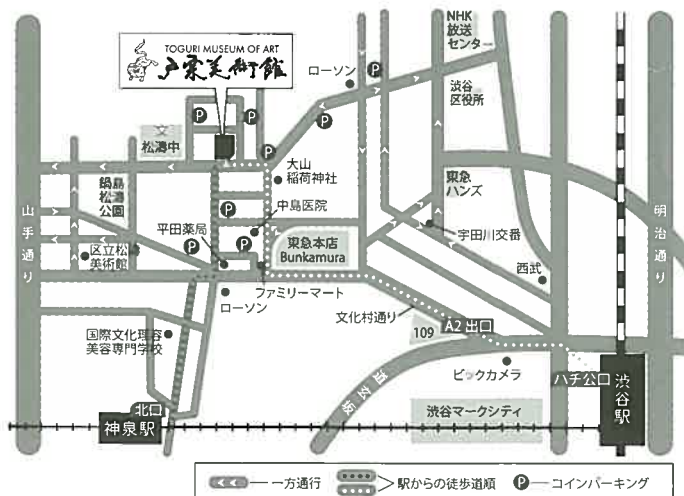
【受付開始】
11月21日(月)
10:00~

同時開催

1階やきもの展示室

「景德鎮探訪記」

中国江西省東北部に位置する景德鎮は中国を代表する窯業地として知られています。当地での窯業のはじまりは10世紀頃まで遡るとされ、元時代後期には青花磁器の技術を確立。明時代になると官窯が設置され、数々の優品を世に送り出しました。大窯業地・景德鎮の地理や現代の様子をご紹介します。



交通: 渋谷駅八チ公口より徒歩15分/地下鉄A2出口より徒歩12分
京王井の頭線 神泉駅北口より徒歩10分
※当館には駐車場はございません。近隣のコインパーキングをご利用ください。

次回展
案内

開館35周年記念特別展 初期伊万里・朝鮮陶磁

2023年1月15日(日)~3月26日(日)

17世紀前期に誕生した伊万里焼と、その技術的な基盤となる朝鮮半島の陶磁器を展示いたします。